

地域から問う持続可能な社会経済のあり方 ～リニア新幹線の開発事業をめぐる～

リニア中央新幹線は、東京・名古屋・大阪の三大都市圏を約 1 時間でつなぐことによる経済の活性化を目指す超特急です。しかし、その開発を巡っては、鉄道としての安全性や健康影響、そして工事による環境社会影響が極めて深刻かつ甚大であることが懸念されています。実際に、すでにリニア実験線のある山梨県では、水枯れ等の環境影響が報告されており、各地始まっている工事でも土砂崩落、地下水の湧出し、陥没等、さまざまな影響や事故が頻発しています。

そもそも、これからの日本の将来に超高速鉄道が必要であるのか、大都市集中型の経済圏の構築が必要であるかという点にも疑問が生じます。持続可能な社会の構築を目指す今、どのような社会にどのような移動手段、開発を必要とするかを話し合える場を持ちたいと思います。

■ゲスト： 榎田 秀樹さん



フリージャーナリスト。大手メディアの報道ではこぼれ落ちる、その地域に生きる人たちの声を丹念に拾い上げることを大切にしながら、環境問題や社会問題を扱う。リニア中央新幹線については 1999 年から 20 年間にわたって取材。著書「悪夢の超特急 リニア中央新幹線」は 2015 年度 JCJ (日本ジャーナリスト会議) 賞を受賞。

増田 卓真さん



静岡県藤枝市出身の 19 歳。現在は長野県在住。話すこと、体を動かすことが好き。中学時代に藤枝市の子供市長を経験。高校時代はラグビーをやっていた。株式会社 REC land というスタートアップ会社でインターン中。高校 2 年の冬に自分で事業を起こすことを決意し、インスタ運用や経営学、マインドセットについて独学で勉強。今年 3 月にリニア問題に取り組む友達から広報の手伝いをして欲しいと言われ、リニア問題について携わり始めた。反対の意見や賛成の意見など多くの話を聞きながら言葉と行動で多くの人に伝えようと思っている。批判を恐れずにより良い生活に近づけることができるよう発信していきたい。

原 章さん



長野県豊丘村在住。リニア新幹線伊弉丹地トンネル、坂島工区と戸中・壬生沢工区から出る工事残土は、主に天竜川の支流である豊丘村の蛇川の上流の本山と戸中と言われる谷や沢に盛土して処分される。工事は既に開始。蛇川下流域に住む者として、それから本山では地権者団体の一員として、「危険だからやめてもらいたい」と地域全体の動きに抗しながらずっと主張してきた。この地域は昭和 36 年に「36 災 (さぶろくさい)」と呼ばれる大変な豪雨災害も経験。

柳井 真結子さん



国際環境 NGO FoE Japan 開発と環境チーム。2007 年より FoE Japan で気候変動問題、開発と環境問題を担当。現在は、インドネシアの気候変動の影響を受けるコミュニティへの適応支援活動の他、国内ではリニア中央新幹線工事の沿線住民への影響の調査等に従事。

■日時：2021 年 6 月 19 日(土) 13:30～16:00 ※受付時間 13:00～13:25

■会場：オンライン開催

※オンライン会議システム・Zoom を使用。スマホや PC 等のインターネット端末から参加いただけます。参加方法の詳細は、お申込みくださった方に 6 月 18 日までにメールいたします。グループ対話セッションや、ゲストとの対話も行う予定です。聞くだけの参加も可能ですが、この対話の場を一緒につくれるよう、お声を出していただけたら幸いです。参加者さまのお顔は写らないよう初めはこちらで設定しますが、グループ対話中は、自主的に顔を写していただけます。

■参加費：無料 ※先着 50 名様。申込締め切り：6 月 17 日または定員に達した時点の早い方。

■主催：認定 NPO 法人まちぽっと ソーシャル・ジャスティス基金(SJF) <http://socialjustice.jp/> メール info@socialjustice.jp

■お申込みページ：<https://socialjustice.jp/20210619.html> ※完全事前登録制。当ページからのみ受付